

令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和4年4月28日
社会福祉法人撫子会 なでしこ保育園

1. 令和3年度に主に取り組んできた重点事項と取り組み状況

	重点事項	具体的な取り組み方法	評価	取り組み状況
1	保護者支援	保護者の育児や子どもの家庭環境等の相談支援に取り組むために、日常的な会話や面談の機会を積極的に増やすよう努める。また、職員間で情報共有を密にしなが、地域のネットワーク（所轄庁、地域の保健師、病院、療育センター、小学校など）を活用し、総合的な支援体制を整えることに努める。	A	日々の生活から子ども又は保護者の困り感について気付いた時に園としての対応を職員間で共通理解し、必要に応じて保護者と面談をすることで園と家庭との連携を深めた。それが良い発達、生活につながるようにしている。また、巡回指導での助言を全職員で理解し対応の一貫性をもつことで子どもの成長にもつながった。
2	食育の充実	保育従事者と調理従事者の交流の場を増やすことで連携を密にし、子ども達の食事に対する願いや思いを食育活動に反映させるよう努める。	B	園庭に小さな畑を作り、日々の遊びの中で今まで以上に作物の生長を身近に感じられるよう設定した。
3	保育環境の充実	教育活動において、子ども達が主体的に遊びに取り組める環境を整えるために、日々の保育の振り返りを深め、室内環境の見直し・実践につなげられるよう取り組む。	A	登降園時の園児対応を丁寧に行ったことで、子ども達が自主的に自分の部屋へ向かったり、所持品の始末をしたりする姿が多くみられるようになった。未満児においてもその作用は大きく感じられた。また、登園がスムーズになったことで、その後の活動においても主体的な姿がよくみられるようになったと感じている。
	働きやすい職場	保育が楽しいと感じることができる職場づくりを目指すために、雇用条件によって働きやすさに違いが生じないよう、業務分掌によりそれぞれの役割を明確にすることで、職員一人一人が互いに協力し生き生きと活躍できる環境を整える。また、職員間のハラスメント防止の意識を高めるために、周知・啓発等を行う。	A	ここ2,3年で行事や記録、書類等の見直しを行ってきており、仕事量を減らす工夫をしてきた成果ができてきている。また、園長と職員の面談を定期的に行い、より働きやすい職場作りに努めた。そのことが、職員の仕事に対する意欲にもつながってきている。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

2. 総合的な評価結果

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングや巡回指導での助言を保育の中に活かすことで、職員間で一貫性をもって気になる子への対応ができた。それが、子どもの成長へつながってきている。子どもの成長した姿を通して、職員の保育に対する意欲につながってきている。 ・コロナ禍ではあるが、身近な人達や地域の方々との連携の取り方の工夫をしながら、子ども達にとって今の時期に必要な体験をするよう努めた ・コロナ禍であるからこそ、生活・行事への取り組みを見直したり工夫をしたりすることで、働き方改革にもつながっている。日々の生活に丁寧に取り組むつつ、集団活動の良さを大切に保育を意識して行っている。

3、自己評価の項目ごとに評価しました。

- a よりよい保育の水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
- b aに至らない状況、多くの施設の状態「a」に向けた取組みの余地がある状態
- c b以上の取組みとなることを期待する状態

回答数 29名

1-1 全体の計画の編成

① こども園の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて教育・保育課程を編成している。

a 90% b 10% c 0%

- ・しっかりと理念、指針等に基づいた保育計画を編成できていると思う。

1-2 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。

a 55% b 45% c 0%

- ・温度、湿度といった保育環境やコーナー作りなど子どもが過ごしやすい遊びの環境を心掛けている。
- ・消毒、換気など施設の衛生は保たれていると思う。ほとんどの子どもが落ち着いて生活しているように思う。

② 一人一人の子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。

a 72% b 28% c 0%

- ・子ども一人ひとりに応じたかかわりを心がけている。
- ・保育者一人ひとりが言葉使いに気を配っていると思う。
- ・子どもに合った適切な援助がされていると思う。又、気になることについて職員間で話し合い、関わり方を共通理解し子どもの状態に応じた保育ができていると思う。

③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。

a 72% b 28% c 0%

- ・一人ひとりに合った援助やその子の頑張る力を引き出せるような工夫した援助が出来ていると思う。

④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。

a 52% b 48% c 0%

- ・おもちゃの組み合わせなどで遊びが広がるよう配慮している。順番を待つことや貸し借りの際の言葉などを通して友達とのつながりやルールなどを学んでいる。遊戯や外遊び、製作を通して表現活動もおこなっている。

⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a 87% b 10% c 3%

- ・安心して楽しめる空間が作られる工夫をしていた。
- ・発達が大きく変わる時期ではあるが、その時期にあった環境作りを探っていた。

⑥ 3歳未満児（1.2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a 76% b 24% c 0%

- ・年齢に応じた配慮をし、身の回りのことを自分でできるよう促している。
- ・子どもや保護者の困り感等を受け、保育者が保護者と話し合いの時間を設け、改善策を考えていることから、家庭との連携がしっかり行われていると思う。

⑦3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a 90% b 10% c 0%

- ・滝沢中央小学校とは交流がもちやすい距離にあるので、見学だけでなく職員同士の情報交換の場や子どもたち同士の交流の場も今まで以上にもてると思う。
- ・適切な声掛けや対応を行っていることで、子ども達も朗らかに成長している。また、クラス毎にまとまりが見られる。

⑧障害のある子どもが安心して生活ができる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a 45% b 48% c 7%

- ・巡回指導での助言を保育に活かせるようクラスで共有し、対象児に限らず保育のなかでもかかわり方の参考にし生活がより良いものになるようにしている。

⑨長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a 55% b 45% c 0%

- ・子どもの情報の共有はきちんとできていると思う。活動と休息を分け1日の生活が安定したものとなるよう配慮されている。
- ・その日の様子や姿に応じて無理なく過ごせるように配慮している。
- ・たくさんの保育者がかかわることなので、全ての職員が引継ぎ等を一致させていかなければならない課題がある。

⑩小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。

a 79% b 14% c 7%

- ・5歳児担任が小学校との連携をとっている。
- ・就学に向けた取り組みを保護者にも伝え、家庭との連携がとれている。

1-3 健康管理

①子どもの健康管理を適切に行っている。

a 80% b 20% c 0%

- ・保育中の怪我など担当職員に報告し共有している。感染症予防対策等保護者職員への連絡体制が整っている。
- ・マメール等で流行している症状やコロナ感染情報について伝えている。

②健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。

a 93% b 7% c 0%

- ・職員会議、パート会議において結果が報告されて職員で共有できている。

③アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて医師からの指示を受け適切な対応を行っている

a 72% b 28% c 0%

- ・毎日の会議で翌日の給食の除去食を確認したり、除去食がある子は別テーブルにして食べたり、安全に留意されている。

1-4 食事

①食事を楽しむことができるよう工夫している。

a 73% b 24% c 3%

- ・必要（発達）に応じてスプーン、フォーク、箸の援助を行い、頑張っている姿を認めてあげるよう声かけを意識している。
- ・年齢に応じた食べ方、マナーを伝えながら取り組むことができている。

②子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。

a 80% b 20% c 0%

- ・個々に合わせ適切な量にするよう配慮している。

2-2 保護者等の支援

①保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。

a 86% b 11% c 3%

- ・登降園の際できるだけ保護者とコミュニケーションをとるよう心掛けている。
- ・子どもの成長を保護者と一緒に喜びあっている。

②家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期対応及び虐待の予防に努めている。

a 86% b 11% c 3%

- ・職員会議、パート会議等を通して全てのクラスの子どもの情報を把握するよう努めている。重大事案に関して臨時に職員を招集し正しい情報の共有ができる体制となっている。
- ・職員全体での保護者支援（虐待も含め）の研修が必要だと思う。

3-1 保育実践の振り返り（保育教諭等の自己評価）

①保育教諭等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている

a 62% b 38% c 0%

- ・以上児、未満児会議等を通して評価反省をしている。日頃から各事案について互いに振り返り評価し合う体制がある。
- ・PDCA（継続的に改善する手法）をさらに行っていかなければならない。

4、令和4年度に取り組む重点事項と取り組み方法

	重点事項	具体的な取り組み方法
1	保育	<p>◎子どもが主体的に活動できる環境を整備し子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達状況をとらえ、今何が子どもにとって必要なのかを探り、様々な活動を工夫する。 ・園の環境を最大限に活かしていくための取り組みを行う。 <p>◎支援が必要な子どもが安定して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法を配慮していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員間で情報を共有し、様々な実践に取り組む。環境設定の工夫（支援の必要な児童用の教具や遊具） ・専門性の高い先生の巡回指導を受け、職員はもちろん、保護者にも理解していただけるような方法を考える。
2	保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも日々の保育の様子を保護者へ伝える工夫 ・保護者への適切な対応・保護者連絡の際の配慮 ・子どもの成長を保護者とともに喜び合う
3	選ばれる園となるために	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアルにより、魅力ある園としての発信 ・支援センターによる園開放の参加者のリピート率向上のための工夫 ・実習生、卒業生への園全体での丁寧な対応 ・地域にある施設等との積極的な交流

5、学校関係者評価委員会の評価

令和4年4月25日(月) 学校関係者評価委員会を開催

出席者 地域有識者1名 保護者会代表1名 園長 主幹保育教諭

- ・ 園として、丁寧に取り組み保育していると感じた。保護者も安心して子どもを預けていると思う。
- ・ 園庭という、より身近な場所で作物の成長を感じられるような取り組みをしたことがとても良いと思った。
- ・ 職員が一貫性を持って気になる子への対応したことで、子どもの迷いが減り、成長につながったと思う。これからも続けて欲しい。
- ・ 職員間の引継ぎは日々の忙しい保育内で行わなければならないこともあり、大変だと思う。しかし、登園時と降園時に異なる保育者でも、保護者が話した内容が伝わっているので、保育者間の連携が取れていると感じ安心している。
- ・ コロナ禍で保護者と直接会話する機会が少なくなった中で、変わらず保護者支援に取り組んでもらいありがたかった。今後も一人一人に応じた保育をしてほしい。

学校関係者評価委員の方から頂いたご意見やご感想を受け止め、さらに良い教育、保育を行って参ります。
ありがとうございました。